



THE ROTARY CLUB OF NAGANO NORTH EAST

# 長野北東ロータリークラブ

例会 毎週月曜日 12:30~13:30 ホテル国際21



## 世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the world

第1092回例会 平成27年 8月17日 No. 987

会長：北村 通将 ・ 幹事：柀津 吉通

《点 鐘》 北村会長

《カウンセラー補助金授与》 北村会長

松本 研一カウンセラー

《斉 唱》

ロータリーソング「奉仕の理想」

《奨学金授与》 北村会長

特別奨学生 ムンフバト メンディ サイハン君

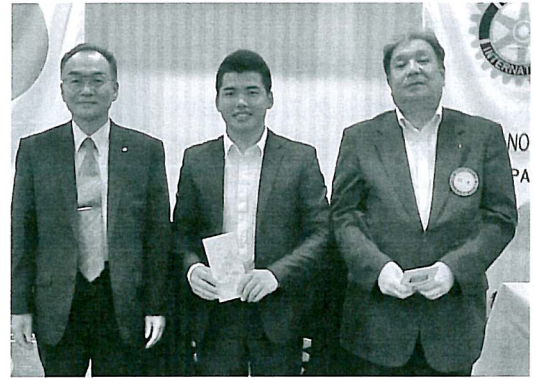
《友愛の握手》

《ゲスト・ビジター紹介》 松橋SAA

国際ロータリー第2600地区 望月 <sup>もちづき</sup> 宗敬ガバナー

国際ロータリー第2600地区 小山 健英ガバナー補佐

特別奨学生 ムンフバト メンディ サイハン君



《出席報告》 丸山親睦活動委員

会員総数	52名	出席ベース	48名
本日の出席者	37名	欠席者	11名
出席率	77.08%	前々回訂正出席率	100%

《ニコニコボックス報告》 川久保親睦活動委員

会員誕生祝…川添喜一郎君、金子 肇君

北村 通将君

市川 晴樹君、中沢 清光君、丸山 継雄君  
 松橋 輝久君、金井 敬司君、松本 研一君  
 柀津 吉通君、南沢 憲三君、松山 秀男君  
 宮下 広男君、金子 和夫君、筒井 義寛君  
 高池 忠克君、羽生田宇多子君、関 俊一君  
 北村 通将君、土井 悦代君、山崎 崇男君  
 川久保良則君

…望月ガバナー、お足元の悪い中お越しいただきありがとうございます。本日は宜しくお願ひ致します。



《会長挨拶》 北村会長

今日は、松本から望月ガバナーと、小山ガバナー補佐がお越しくださいました。この後、お話をいただくことになっておりますので、宜しくお願ひいたします。



一つ、お知らせがあります。ロータリー米山記念奨学会から矢澤敏雄君へ米山功労者感謝状が届いております。後程、事務局の方からご送付いたします。

例年、8月に入るとTVからは8月6日、9日の原爆の投下から敗戦の日の玉音放送と戦争の話が多くなります。私のような戦中派にとっては、戦後の食糧難の時代が思い出されます。物不足のため粉を持って買い物に行った記憶があります。物があふれる今の時代には考えられないことかもしれません。そういう意味では、物を大切にする言葉「もったいない」は、日本では死語になってしまったようです。

そして、30年前の8月12日の日航機墜落事故です。なぜか8月は暗いニュースが多いのです。

ところで、来年から8月11日は「山の日」として祭日となることになっています。実は、たまたま私の誕生日でして、来年からは、全国民からお祝いして頂けることになりました。果報は寝て待てとは、こういうことを言うのでしょうか。

#### 《幹事報告》 祢津幹事

1. 地区大会の出欠の有無を、まだ提出されていない方は、本日中に事務局までご連絡をお願いいたします。
2. 同好会参加申込み用紙の提出期限が、8月20日までとなっておりますので、まだ提出されていない方は、事務局までご連絡をお願いいたします。尚、入会の浅い方で、同好会のイメージが良く分からない方は、事務局までお尋ねください。

#### 《委員会報告》

##### ●市川ゴルフ同好会会員

本日、メールボックスに配布いたしました但し、9月5日(土)にゴルフコンペを開催いたします。

3組ご用意してございます。奮ってご参加下さい。



#### 《本日のプログラム》 ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2600地区

もちづき ひなたか  
望月 宗敬ガバナー



#### ガバナー公式訪問挨拶

◎まず、国際ロータリー会長ラビンドランご夫妻(PP2)×

- ・ラビンドラン会長の出身国はスリランカです。

スリランカはインド近くの島国、人口2,000万人、Rクラブ数は58、会員数は1,700人→2600地区と大差ありません。このような小さな国から会長が出たわけで、それだけに相当な人物だと思ふ。

会長の経歴は「クラブ計画書」、生い立ち、考え方等は、「ロータリーの友」7月号に載っていますのでお読みください。

185cmの長身、立っているだけで気品が感じられる紳士です。

私たちのリーダーとして尊敬できる素晴らしい方だと思います。

#### ◎ラビンドラン会長の基本方針(PP3)

- ・ラビンドラン会長の基本テーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

「何かをプレゼントしよう」ではなく、「自らがプレゼントになろう」

ただお金を出すだけでなく、自分自身が行動・実践し汗をかいた奉仕をしなさい。

ここに重要な意味があると思います。詳細はクラブ計画書をご覧ください。

#### ◎R1会長方針を受けての2600地区の方針(PP4)

- ・会長からの問い、「プレゼントできる何か」を自分に問うたとき、私たちロータリアンは職業人の集まりですから、自信をもって地域にプレゼントできるもの→それは「自分の職業を通しての奉仕」だと確信します。

私は、「思い起こそう、ロータリーの心と原点」を地区テーマとして、職業奉仕にロータリーの一つの方向を見出したいと考えます。本日の話も職業奉仕が中心です。

- ・また、会員減少により、地区組織・運営を大幅に見直す必要があります。

「今、見直しに勇気を」を行動指針として取り組む覚悟です。

ロータリー第2600地区へのプレゼントになるよう全力で取り組みます。

#### ◎ガバナー補佐とともに(PP5)×

と、偉そうに言っても私一人ではできません。

9人のG補佐の皆さんと力を合せて頑張る所存です。

特に小山G補佐には助けていただいております。

皆様のご支援、ご協力をお願いします。

#### ◎まず、私の28年前のロータリー入会時の思い出をお話しします。(PP6)×

- 入会と職業分類の厳格さです。

推薦者は、恩師の神沢税理士でしたが、入会は簡単ではありませんでした。

「ロータリーは一業種一人なんだ、わしが税理士で入会しているから同じ業種では入会できない」「望月君は社会保険労務士もやっているから、それでいこう」ということで社労士として入会させていただきました。他に会員に先輩税理士2名おりましたが、経営コンサル、不動産管理という職業分類でした。神沢先生からこの二人に挨拶に行くよう言われ行きました。

ロータリーは入会のルールがしっかりしている、さすがR。

自分の職業を代表して入会している誇りと責任を感じました。

- 例会について、当時のクラブ奉仕委員長から、→「例会は人生の学校である」

学校だから出席義務がある。もし欠席の場合は必ずメーキャップを下さい。

他のクラブの多くの会員ともお付き合いができるR独特のシステムだ。

だから、名前だけ書いてくるメーキャップでは意味が無い。

例会への出席義務については、苦痛とは思わず、それがRの活力でありステイタスだと感じました。他のクラブへメーキャップに出かけ、凄く歓待された思い出も何回かあります。

#### ◎私のロータリーモーメント

##### ○入会して間もないころの話

ある医師が税務顧問の依頼で事務所へ→仕事・契約の話は終わって雑談

「ところで、望月さんはRとかLとかには入会しているのですか？」

「はい、2年前から松本ロータリークラブにお世話になっています」

「そうですか、それなら安心だ」・・・「それなら安心だ」

この時の感動・感激は今も忘れません。ロータリーの信頼度・凄さを感じました。

はたして今のロータリーはどうでしょうか？

後の話は時間の関係で省略・またの機会にします。

#### ◎ピーク時から33%減った会員(PP7)

・ロータリーの会員数について見てみます。

まず赤線グラフですが、これは日本の会員数の変化です。(右メモリ)

1998年(アジア金融危機)以降減少に入り、正に坂道を転げ落ちるような減少。

会社で売り上げがこれだけ減少すれば倒産です。

2600地区においても、日本の推移と同じ形ですが、もっと急激です。

3200名いた会員が、今1,954名です。何と38%の落ち込みです。

今年の7月からR1理事は今までの2名から1名に減りました。2年後に92,000人に戻っていないときは、2年に一度1名の理事になります。日本の発言力↓

組織改革止む無しです。一番の重要事業が会員増強とは悲しいことです。

・青の棒グラフが世界の会員数です。(左メモリ)

2002年の大増強キャンペーン以降、多少の増減はありますが、ほぼ横ばいといった感じですか。

#### ◎世界の増減表(PP8)×

しかし、この中身を見てください。発展途上国では増加、先進国は減少です。

この状況を皆さんはどうお考えになりますか？

#### ◎ロータリーの変化(PP9) (1枚目左下)

・ロータリー誕生から現在までを見てみましょう。赤字は職業奉仕の変遷→後で説明  
・まず、1905年から1960年の約60年間ですが、外部的には無変化でした。

内部的にはいろいろありました。このことは、重要ですので後で申し上げます。

・(19)60年代から(19)80年代にかけて変化が発生しました。

外部活動の開始です。

・IA・RA・RYLA・YE青少年交換も始まった。日本では米山→R1は青少年健全育成に傾注

・(19)80年代から2000年にかけて大きな変化が出てきました。

83年・お金を有効に集めるためのR財団が財団法人化しました。

85年、R1が直接手掛けるポリオ撲滅に乗り出します。Rの質的变化の始まりです。

・そして2000年以降

「奉仕の第2世紀」と言われる革命的变化が起きてきます。

「DLP」、「CLP」、「R1戦略計画」、「未来の夢計画」です。

2000年に入って13年の間に4つの大プログラムが相次いで打ち出されました。

このスピードに、どのクラブも会員も戸惑っているというのが現状ではないでしょうか？今、私たちはこの大変化の中にあります。

#### ◎ロータリー設立当初の黎明期について(PP10)

・ロータリーの精神的骨格を作ったのはアーサー・シェルドンです。

「最も奉仕するもの最も多く報われる」。またフランク・コリンズが「超私の奉仕」を唱え、この二つが公式標語となってロータリーは奉仕団体としての性格を明らかにしました。

しかし、そういった道徳論的奉仕団体に飽き足らぬ人がでてきます。

メルグイン・ジョウンズという会員は、奉仕とは、今、現にお金を必要としている人達に対し、支援することだと1917年、ライオンズクラブを設立しました。

ここに「I serve」という理念のロータリーに対し、「We serve」と叫ぶライオンズが誕生しました。

We Serveを望む人たちは出ていきました。ここで決着かと思いきや、翌年、1918年、エドガー・アレンという人物が入会してきました。

アレンは、身体障害児救済問題に深い関心を持っており、これこそロータリーが取り組むべき課題として各クラブに働きかけました。

これがロータリーの基本理念を守ろうと

する人たちとの大論争になり、もうどうしようもない状態にまで追い込まれた時に出てきたのが、1923年のセント・ルイス大会で採択された、「決議23-34」であります。

### ◎I ServeとWe Serveの違い(PP11)

I Serve と We Serve どこが違うのか？ We Serveは、会員同士が力を合わせ、お金や労力を集めて大きな集団奉仕の成果を上げることがGoal (目的)です。そこで完了。

それに対して、I Serveは、会員個々の力を集め、集団奉仕を行うところまでは、We Serveと同じです。しかし、I Serveはこれで終わらない。終わってはいけません。

これはTraining・実験です。

団体で行った奉仕を訓練として学び、それを自分の会社や地域に持ち帰り、奉仕の輪を広めていくことです。あくまで個人の奉仕に重点をおくものです。

### ◎決議23-34の意味するところ(PP12)

全文は「手続要覧」p65に掲載されています。ここでは意味のみ

この決議の真髄は、「ロータリーは、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動との間に常に起こる争いを和解させようとする人生の哲学である」という一節に凝縮されています。

そして、更に重要な点は、次の欄、「ロータリークラブの社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員を、奉仕という点で訓練しようとする実験としてのみ考慮…つまり、ロータリークラブはロータリアン個人に奉仕をさせるための組織であって、クラブが団体として奉仕するのはむしろ本筋ではないということです。

ここにロータリーの意義があります。

### ◎職業奉仕の変遷(PP13)

次に、職業奉仕の変遷について見てみましょう。

この図は皆さんにはありません。「ロータリーの変化」表P1左下。

1915年にロータリーは「道德律」を制定しました。特に、後にR1会長となる、ガイ・ガンディカーの「レストラン業界の道德律」は有名です。

1920年禁酒法が施行されました。(酒を飲んではいけないという法律ではなく、販売・購入・移動、を禁止したもの)そこにアルカポネ率いるマフィアが台頭してきます。ここにレストラン業界をはじめ、いくつかの業種で道德律を盾にロータリアンのマフィアとの戦いが展開します。

道德律を守って正義を貫こうとするロータリーアンに対して市民は拍手喝さいを送ります。まさに、職業奉仕の爛熟期でした。

その後、社会は変化します。

シェルドンの、「資本家だけが利益を独占するような経営はだめだ」という経営哲学の啓蒙普及、「4つのテスト」の開始。

ジョン・ケインズ、P・Fドラッカーによる修正資本主義による企業マインドの改善、企業の社会的責任等、経営者の倫理経営は当然化・一般化し、現在に至っています。

それにつれて、ロータリーの金看板・職業奉仕の影が薄くなってきたことは事実だと思います。

職業奉仕の爛熟期から60年経過した1987年、R1理事会は、「職業奉仕に関する声明」を打ち出します。

職業奉仕は会員個人だけでなくクラブにも責任があるというものです。

さらに、92年には、決議92-286を出しました。これは、クラブが積極的に団体奉仕をするようにとの勧めと、R1が奉仕の具体案、(どうしなさい)を提案するというものです。

さらに、2014年、「87年の職業奉仕に関する声明」がロータリー章典に掲載されることとなり、これにより、職業奉仕はクラブと会員の両方の責任であることが明確となりました。

以上が職業奉仕の変遷です。

### ◎「職業奉仕」はロータリーの根幹(PP13)

さて、このような動きの中で、ロータリーの金看板と言われた職業奉仕をこのまま燻らせてしまっていていいのでしょうか。

私はNOです。

ロータリアンは、「職業分類」によって選ばれた、「職業人の集まり」です。

ロータリーにおける、あらゆる奉仕活動は、人間性向上の修練のためにあり、修行の結果を世に問うことが職業奉仕です。

職業奉仕はロータリーの根幹です。

私はロータリーの職業奉仕はもっと輝きを増すべきだと思います。

### ◎職業奉仕の見える化(PP15)

本年度の事業目標「職業奉仕の具現化」はその第一歩です。

特に難しいことではなく、学校等への出前授業を積極的に行うことで、ロータリアンの職業奉仕をより見える形で実践しようというものです。

自分の職業について、その経験や専門知識を若者に話すことはロータリアンの得意とするところです。

自信をもって若者にプレゼントできるものです。

ただ、ロータリアン個人が、出前講座を考え、学校と交渉するのは大変です。

その部分を、クラブか職業奉仕委員会(長)が行うのです。

クラブと会員が共同でやる職業奉仕です。

ぜひ、貴クラブでも、出前授業を計画し実行してください。

あくまでお願いです。

2600地区55クラブが一斉に取り掛かることによって「公共イメージと認知度の向上」の効果を期待しています。

松本大学での実施の話→新聞記事を参照

→中信地域では12クラブが共同でこの事業に取り組みます。

これが他の地域にも広がればロータリーの職業奉仕は輝きを増します。

### ◎「ロータリーの例会は人生の道場」(PP16)

ポール・ハリスは例会に出席すると「童心に帰る」といわれました。

例会は、人間性を取り戻す時間です。

周りは、信頼できる仲間だけ、仕事のために、緊張した心も、体も、リラックスします。

人間性が回復し、他人のことや社会の問題等を考える余裕ができます。

これが、親睦から奉仕が生まれる過程であり、ロータリーの本質です。

以前のロータリーは、優れた人生教室として、尊敬と羨望の眼差しで見られていました。

その後、幾多の奉仕プロジェクトを手掛けるようになり、またそれに伴う財政事情から会員増強・寄付増大が重点課題になってくるに従って、ロータリーは急速に変質してきました。

「人づくり」という使命は薄れ、要は、如何にして「We serve」の輪を拡げるか、そのための会員拡大と、財政基盤確立こそ重点目標となっています。

単に人を集め、お金を集めて、寄付するだけなら、ロータリー特有の職業分類も例会も必要ありません。

少し、批判めいたことを申し上げましたが、私たちは、R Iの一員です。

世界の多数会員の意向によって規定審議会によって決議される、R Iの決定事項は順守しなければなりません。

しかし、私は、時代は変わっても、ロータリーの根幹である、職業奉仕を最終目的とする、「自己修練の旗」は決して降ろしてはならないと考えます。

### ◎ロータリー活動は「担雪埋井」の心で(PP17)

ロータリーは親睦の中で、奉仕を学び、人格を磨くための団体です。

そのために例会は欠かさず出て、団体で奉仕活動を行い、一步一步自分を改革して成長させ、その成果を社会へプレゼントしましょう。

ロータリーは一より学び十を知り、十よりかえるもとに一

繰り返し 繰り返し 人間性を高めるために精進する

ロータリーに「もうこれでいい」という終わりはありません。

ですから皆さん、簡単に「もう年だから」などと退会などしてはいけません。

学ぶことを放棄することですから、途中退会は不幸なことです。

それでは最高の退会はどうなのか？

2630地区、服部芳樹PDGが著書「I serve」の中で明快に、それは「天寿退会」ですと述べています。

### ◎甦れロータリー(PP18)

ロータリーは素晴らしい魅力を持っています。

有意義な価値ある団体です。

ぜひ、ロータリーで学び、人格を磨き、そして人生を楽しみましょう。

「私はロータリー会員です」

「あっ、それなら安心だ」

そんな、誇れるロータリーに再びしたいものです。

ご清聴ありがとうございました。

完

《点 鐘》 北村会長

~~~~~

《8月24日のメニュー》 — 洋食—

- ・小エビと彩り豆のサラダ仕立て
- ・牛カルビ丼
- ・レモンゼリー
- ・コーヒー

~~~~~

## 【8月24日のプログラム】 「ゲスト卓話」

非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト／じゃん・けん・ぼん・設立者 寺沢さゆり様

